



(題字 小黒千足 学長)

第355号  
(平成6年7月号)



▲ 1994年日本留学フェアオリエンテーション会場 (中国北京市)

## 目 次

関係法令	3	◆ 平成6年度高等学校と富山大学との 入学試験に関する懇談会	23
学内規則	4	◆ 富山大学リカレント学習コースを開設	23
諸会議	6	◆ 工学部木製大看板掲げる	24
学 事	7	◆ 海外渡航者	24
◆ 富山大学入学者選抜要項の公表	7	◆ 外国人来訪者	26
◆ 平成6年度文部省在外研究員 派遣予定者の決定	21	職 員 消 息	26
人 事 異 動	21	訃 報	27
学 内 諸 報	22	主 要 行 事	28
◆ 中国北京市で開催の日本 留学フェアに参加	22		
◆ 経済学部外国人留学生と 学部教官等との懇談会	22		

**関 係 法 令****(政 令)**

- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令  
(219) (平6. 7. 1 官報号外第125号)
- 一般職の職員の勤務時間、休暇に関する  
法律の施行期日を定める政令  
(250) (平6. 7. 27 官報第1450号)
- 一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する  
法律の施行に伴う関係政令の整理に関する  
政令 (251) (平6. 7. 27 官報第1450号)

**(省 令)**

- 支出官事務規程等の一部を改正する省令  
(大蔵71) (平6. 7. 1 官報号外第125号)
- 日本育英会が学資の貸与を行う場合の認定  
の基準及び方法に関する省令の一部を改正  
する省令 (文部30)  
(平6. 7. 1 官報号外第125号)
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令  
(文部29) (平6. 7. 1 官報第1432号)
- 大学の設置等の認可の申請手続等に関する  
規則の一部を改正する省令 (同32)  
(平6. 7. 20 官報号外第138号)

**(規 則)**

- 人事院規則9-17 (俸給の特別調整額)  
の一部を改正する人事院規則 (人事院9-17-48)  
(平6. 7. 1 官報号外第125号)
- 人事院規則9-55 (特地勤務手当等) の  
一部を改正する人事院規則 (同9-55-33)  
(平6. 7. 1 官報号外第125号)

- 人事院規則8-12 (職員の任免) の一部を  
改正する人事院規則 (人事院8-12-6)  
(平6. 7. 1 官報第1432号)
- 人事院規則9-30 (特殊勤務手当) の一部を  
改正する人事院規則 (人事院規則9-30-24)  
(平6. 7. 21 官報第1446号)
- 一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する  
法律 (平成6年法律第33号) の施行に伴う  
関係人事院規則の整備に関する人事院規則  
(人事院規則1-19)  
(平6. 7. 27 官報号外第143号)
- 職員の勤務時間、休日及び休暇 (同15-14)  
(平6. 7. 27 官報号外第143号)
- 非常勤職員の勤務時間及び休暇 (同15-15)  
(平6. 7. 27 官報号外第143号)
- 人事院規則10-7 (女子職員及び年少職員  
の健康、安全及び福祉) の一部を改正する  
人事院規則 (人事院10-7-2)  
(平6. 7. 29 官報第1452号)

**(告 示)**

- 大学の設置等の認可申請書その他の書類の  
様式及び提出部数を定める件 (文部116)  
(平6. 7. 20 官報号外第138号)
- 学校法人の寄附行為等の認可申請に係る  
書類の様式等を定める件 (同117)  
(平6. 7. 20 官報号外第138号)
- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣  
換算率を定める等の件の一部を改正する件  
(大蔵156) (平6. 7. 29 官報第1452号)

# 学 内 規 則

## 富山大学事務組織規則の一部改正

### 富山大学事務組織規則の改正理由

特定の課に、当該課の所掌事務のうち一定範囲の事務を直接処理する専門職員を配置することに伴い、所要事項を改める。

富山大学事務組織規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

### 富山大学事務組織規則の一部を改正する規則

### 附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

富山大学事務組織規則（昭和39年1月1日制定）の一部を次のように改正する。

第16条第2項中「特定の分野」を「特定分野又は一定範囲の分野」に改める。

## 富山大学事務分掌内規の一部改正

### 富山大学事務分掌内規の改正理由

- 1 庶務課及び主計課の事務を適正かつ効率的に処理するため、専門職員の事務を整備することに伴い、所要事項を改める。
- 2 事務の効率化を図るため、経理課に専門職員を配置することに伴い、所要事項を改める。
- 3 厚生課に専門職員制を導入し、事務の迅速化、効率化を図るため、厚生寮務係及び奨学係を廃止し、専門職員及び厚生企画係を置くことに伴い、所要事項を改める。
- 4 字句の整備を行う。

富山大学事務分掌内規の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

#### 富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規

富山大学事務分掌内規（昭和61年5月28日制定）の一部を次のように改正する。

第2条専門職員の項中「専門職員」を「専門職員（研究協力・法規担当）」に改め、同項中第5号を第6号とし、第4号の次に次の1号を加える。

(5) 学則その他諸規則等の制定及び改廃に係る指導・助言に関すること。

第3条の2専門職員の項中「専門職員」を「専門職員（自己点検評価担当）」に改める。

第4条専門職員の項中「専門職員」を「専門職員（予算分析担当）」に改め、同項第1号から第3号までを次のように改める。

(1) 組織の廃止転換、再編成等に係る予算要求に関すること。

(2) 予算配分方針の策定に関すること。

(3) 会計法規の解釈に係る指導・助言に関すること。

同条司計系の項中第1号を次のように改める。

(1) 予算の要求に関すること。（専門職員（予算分析担当）の分掌事務を除く。）

第5条本文中「出納係」を「専門職員、出納係」に改め、同条出納係の項の前に次の1項を加える。

専門職員（契約担当）

(1) 特定調達契約及び外国製機器契約に係る指導・助言に関すること。

(2) 契約事務の指導・助言に関すること。

(3) 官公需について中小企業者の受注機会の確保に関すること。

(4) 課の所掌事務の、上司の命を受けた事項に関すること。

第8条中「，厚生寮務係，奨学係」を「，厚生企画係」に改め、同条専門職員の項中「専門職員」を「専門職員（進路指導担当）」に改め、同項の次に次の1項を加える。

#### 専門職員

(1) 学生の奨学に関し、総括し、連絡調整すること。

(2) 日本育英会及び地方公共団体等の奨学生に関すること。

(3) 入学料の免除、授業料の免除・徴収猶予及び寄宿料の免除に関すること。

(4) 学生の生活相談に関すること。

(5) 学生のアルバイトあっせんに関すること。

(6) 学生の寄宿舎の管理運営に関すること。

(7) 寮生活に対する助言及び援助に関すること。

(8) 学生のアパート及び下宿のあっせんに関すること。

(9) 学生の厚生施設の厚生事業に関すること。

(10) 所掌事務の調査統計に関すること。

(11) その他学生の福利厚生に関すること。

同条厚生寮務係の項及び奨学係の項を削り、専門職員の項の次に次の1項を加える。

#### 厚生企画係

(1) 厚生課の所掌事務に関し、総括し、連絡調整すること。

(2) 厚生課（保健係を除く。）の所掌する委員会等に関すること。

(3) 学生の福利厚生施設の管理運営に関すること。

(4) 学生の生活調査に関すること。

(5) 学生の旅客運賃割引証に関すること。

(6) その他厚生課の所掌事務で、他の係に属しないこと。

第9条専門職員の項中「専門職員」を「専門職員（教務担当）」に改める。

#### 附 則

この内規は、平成6年4月1日から実施する。



## 第1回教務委員会（7月1日）

（審議事項）

- (1) 非常勤講師任用計画の調整方法について
- (2) その他

## 第3回放射性同位元素総合実験室運営委員会（7月27日）

（議 題）

- (1) 外国雑誌及び国内雑誌購入の見直しについて
- (2) その他

## 第3回大学院委員会（7月8日）

（審議事項）

- (1) 平成7年度富山大学大学院教育学研究科（修士課程）学生募集要項について
- (2) その他

## 第4回部局長懇談会（7月29日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

## 第2回廃液処理施設運営委員会（7月19日）

（議 題）

- (1) 廃液処理施設運営委員長の選出について
- (2) その他

## 第4回大学院委員会（7月29日）

（審議事項）

- (1) 平成7年度富山大学大学院工学研究科（博士後期課程）学生募集事項について
- (2) 富山大学大学院学則の一部改正について（継続）
- (3) 富山大学学位規則の一部改正について（継続）
- (4) 富山大学大学院委員会規則の一部改正について（継続）
- (5) 大学院委員会の審議事項について（継続）
- (6) その他

## 第1回発明委員会（7月19日）

（議 題）

- (1) 発明の届出について
- (2) その他

## 第1回組換えDNA実験安全委員会（7月21日）

（議 題）

- (1) 委員長の選出について
- (2) 組換えDNA実験計画について
- (3) その他

## 第4回評議会（7月29日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学則の一部改正について（継続及び新規）
- (2) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (3) 富山大学学位規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院委員会規則の一部改正について
- (5) 平成6年度学内予算配分（案）について
- (6) その他

## 第2回放射性同位元素総合実験室自己点検評価委員会

（7月27日）

（議 題）

- (1) 平成5年度放射性同位元素総合実験室自己点検評価調書について
- (2) その他

学

事

## 平成7年度 富山大学入学者選抜要項の公表

平成7年度入学者選抜要項を去る7月11日(月)に発表しました。昨年度との変更点及び入学者選抜要項の概要は、以下のとおりです。

## 昨年度との変更点

## 1 一般選抜について

## (1) 実施方式

教育学部中学校教員養成課程の分離分割方式移行に伴い、全学部が分離分割方式で実施すること。

## (2) 実施日程

## ① 出願期間：平成7年1月23日(月)～2月1日(水)

[昨年度 1/24～2/1]

## ② 検査期日：前期日程 平成7年2月25日(土)

[昨年度 2/25]

後期日程 平成7年3月11日(土)

[昨年度 3/12]

## ③ 合格発表：前期日程 平成7年3月6日の予定

(9月募集要項発表時に確定)

後期日程 平成7年3月21日の予定

(9月募集要項発表時に確定)

## (3) 募集人員

前期日程 1,191人 後期日程 331人 計 1,522人

(中学校教員養成課程の移行によるもの)

[昨年度の確定募集人員 前期 1,153人 後期 319人

A日程 50人 計 1,522人]

## (4) 入学者選抜実施教科・科目等

## ① 人文学部 変更なし

## ② 教育学部

ア 中学校教員養成課程が分離分割方式に移行したことに伴い、後期日程で個別学力検査等を実施

(学力検査：国語、英語専攻、小論文：社会、数学、家庭及び技術専攻、小論文・面接：理科専攻、実技検査：音楽、美術及び保健体育専攻)

イ 実技検査(音楽実技)の検査内容を一部変更

(課題曲、楽器の種類等)

## ③ 経済学部 変更なし

## ④ 理学部

ア 前期日程で、地球科学科が大学入試センター試験の「理科」の配点を変更(100点→200点)

イ 後期日程で、物理学科が「小論文」を、生物学科及び生物圏環境科学科が「面接」を新規実施

## ⑤ 工学部 変更なし

## 2 特別選抜について

## (1) 実施日程

## ① 出願期間：平成6年11月7日(月)～11月11日(金)

[昨年度 11/8～11/12]

人文学部推薦入学(センター試験を課す推薦入学)は、平成6年12月12日(月)～12月16日(金)

[昨年度 12/13～12/17]

## ② 検査期日：平成6年11月30日(水)

[昨年度 12/1]

人文学部推薦入学(センター試験を課す推薦入学)は、平成7年1月18日(水)

[昨年度 1/19]

## ③ 合格発表：平成6年12月8日の予定(9月募集要項発表時に確定)

人文学部推薦入学(センター試験を課す推薦入学)は、平成7年2月9日の予定(9月募集要項発表時に確定)

## (2) 募集人員、個別学力検査等

主な変更：推薦入学募集人員の拡大(163人→171人)

## ① 人文学部：推薦入学の募集枠を拡大

人文学科 5人→6人、国際文化学科 3人→4人、言語文化学科 7人→8人 学部計 18人

## ② 教育学部 中学校教員養成課程の音楽専攻が推薦入学を新規実施(2名募集 学部計 24人)

数学専攻の「簡単なテスト(数学)」を「小論文」に変更

- ③ 経済学部 特別選抜募集人員を学科別に明示
- ア 「昼間主コース」推薦入学募集人員  
「学部全体で30人」→「経済学科12人，経営学科10人，経営法学科 8人」
- イ 「夜間主コース」推薦入学募集人員  
「学部全体で20人」→「経済学科 7人，経営学科 7人，経営法学科 6人」
- ウ 「夜間主コース」社会人特別選抜募集人員  
「学部全体で20人」→「経済学科 7人，経営学科 6人，経営法学科 7人」
- ④ 理学部
- ア 数学科の推薦入学で，面接内容を変更（検査を含む→試問を含む）
- イ 生物圏環境科学科の推薦入学で，「簡単なテスト」を「小論文」に変更
- ウ 帰国子女特別選抜の出願要件を，「渡航理由が保護者の海外勤務等の事情による者に限る。」とし，人文学部及び経済学部の出願要件と統一
- ⑤ 工学部
- ア 電子情報工学科の推薦入学募集枠を拡大  
「普通科・理数科」の募集人員を12人→13人，学科全体として18人→19人に
- イ 機械システム工学科の推薦入学募集枠を拡大  
「普通科・理数科」の募集人員を 9人→10人，「専門教育を主とする学科(工業)」の募集人員を 4人→ 5人に変更，学科全体として，13人→15人に
- ウ 推薦入学の検査内容を変更（全学科とも「簡単なテスト（数学，英語）」を廃止）

## 3 私費外国人留学生選抜について

## (1) 実施日程

- ① 出願期間：平成7年1月23日(月)～2月1日(水)  
[昨年度 1/24～2/1]
- ② 検査期日：平成7年2月25日(土)  
[昨年度 2/25]
- ③ 合格発表：平成7年3月6日の予定  
(9月募集要項発表時に確定)

## (2) 入学者選抜実施教科・科目等

理学部化学科で個別学力検査等を「面接」のみとした



## 平成7年度 富山大学入学者選抜要項（抜粋）

## 1. 学部、学科・課程等及び入学定員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員		募集人員に含まれる 特別選抜の募集人員
				前期日程	後期日程	
人文学部	人文学科		70	55	15	〔前期日程〕推薦入学（6人）、帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	国際文化学科		40	30	10	〔前期日程〕推薦入学（4人）、帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	言語文化学科		95	70	25	〔前期日程〕推薦入学（8人）、帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	計		205	155	50	
教育学部	小学校教員養成課程		100	70	30	
	中学校教員養成課程		50	38	12	〔前期日程〕推薦入学（14人…数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び技術の各専攻2人）
	養護学校教員養成課程		20	14	6	
	幼稚園教員養成課程		30	21	9	
学部	情報教育課程	教育情報コース	24	18	6	〔前期日程〕推薦入学（6人）
		環境情報コース	16	12	4	〔前期日程〕推薦入学（4人）
		小計	40	30	10	
	計		240	173	67	
経済学部	昼間 主コース	経済学科	155	124	31	〔前期日程〕推薦入学（12人）、帰国子女特別選抜（若干名）
		経営学科	120	96	24	〔前期日程〕推薦入学（10人）、帰国子女特別選抜（若干名）
		経営法学科	100	80	20	〔前期日程〕推薦入学（8人）、帰国子女特別選抜（若干名）
		小計	375	300	75	
	夜間 主コース	経済学科	20	16	4	〔前期日程〕推薦入学（7人）、社会人特別選抜（7人）
		経営学科	20	15	5	〔前期日程〕推薦入学（7人）、社会人特別選抜（6人）
		経営法学科	20	15	5	〔前期日程〕推薦入学（6人）、社会人特別選抜（7人）
		小計	60	46	14	
計		435	346	89		
理学部	数学科		53	46	7	〔前期日程〕推薦入学（16人）、帰国子女特別選抜（若干名）
	物理学科		47	37	10	〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	化学科		38	30	8	〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	生物学科		40	33	7	〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	地球科学科		32	27	5	〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
	生物圏環境科学科		30	25	5	〔前期日程〕推薦入学（5人）、帰国子女・社会人特別選抜（若干名）
計		240	198	42		
工学部	電子情報工学科		132	105	27	〔前期日程〕推薦入学（19人）
	機械システム工学科		101	80	21	〔前期日程〕推薦入学（15人）
	物質工学科		83	66	17	〔前期日程〕推薦入学（12人）
	化学生物工学科		86	68	18	〔前期日程〕推薦入学（12人）
	計		402	319	83	
合計		1,522	1,191	331		

2. 平成7年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

(3-1)

学部・学科名		選抜方法等			個別学力検査等					定員一部留保第2次募集			個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		個別学力検査を課する			2段階選抜					入学定員の一部についてあらかじめこれを留保し、これについて第2次募集を行う					
		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査等		第2次募集人員			
人文学部	人文学科													2 月 25 日 (土)	欠員補充の方法等は、9月中旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。
	国際文化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	言語文化学科														
教育学部	小学校教員養成課程														
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	養護学校教員養成課程														
	幼稚園教員養成課程														
	情報教育課程														
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
経済学部	昼間主コース 経済学科														
	経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営法学科														
	夜間主コース 経済学科														
	経営学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営法学科														
理学部	数学科														
	物理学科														
	化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	生物学科														
	地球科学科														
	生物圏環境科学科														
工学部	電子情報工学科														
	機械システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	物質工学科														
	化学生物工学科														

参考 1. 調査書にⒶ標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)  
 2. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式前期日程である。

(2) 一般選抜(後期日程)

(3-2)

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等						定員一部留保第2次募集				個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)			
		実技検査等			2段階選抜			入学定員の一部についてあらかじめこれを留保し、これについて第2次募集を行う								
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う		第1段階の選抜による合格者数		個別学力検査を課する	実技検査等			第2次募集人員		
定員に対する倍率	その他					実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する								
人文学部	人文学科													3 月 11 日 (出)	欠員補充の方法等は、9月中旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。	
	国際文化学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	言語文化学科															
教育学部	小学校教員養成課程															
	養護学校教員養成課程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	幼稚園教員養成課程															
	中学校教員養成課程	国語、英語専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×
		社会、数学、家庭、技術専攻	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		理科専攻	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		音楽、美術、保健体育専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×
情報教育課程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×				
経済学部	昼間主コース	経済学科														
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		経営法学科														
	夜間主コース	経済学科														
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		経営法学科														
理学部	数学科															
	生物学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	生物圏環境科学科															
	物理学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	化学科															
工学部	電子情報工学科															
	機械システム工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	物質工学科															
	化学生物工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	地球科学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

参考 1. 調査書に④標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)  
 2. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式後期日程である。

(3) 特別選抜

(3-3)

学部・学科名		選抜方法等		推 薦 入 学						帰国子女, 社会人等のための特別選抜			備 考
				入学定員の一部について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する						帰国子女	中国引揚者等子女	社会人	
		個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等				推薦入学募集人員					
実技検査を課する	面接を行う			小論文を課する	その他								
人文学部	人文学科							6人					
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	4人	○	×	○		
	言語文化学科							8人					
教育学部	小学校教員養成課程												
	養護学校教員養成課程	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	幼稚園教員養成課程												
	中学校教員養成課程	国語, 社会, 英語専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	中学校教員養成課程(数学専攻)推薦入学について 面接には, 基礎学力に関する試問を含む。
		数学専攻							2人				
		理科専攻	×	○	×	○	○	×	2人	×	×	×	
		家庭専攻							2人				
		技術専攻							2人				
		音楽専攻	×	○	○	○	×	×	2人	×	×	×	
	課程情報教育	保健体育専攻							2人				
教育情報コース		×	○	×	×	○	×	6人	×	×	×		
経済学部	昼間コース	経済学科						12人					
		経営学科	×	○	×	○	○	×	10人	○	×	×	
		経営法学科							8人				
	夜間コース	経済学科							7人				
		経営学科	×	○	×	○	○	×	7人	×	×	○	
理学部	数学	数学科	×	○	×	○	×	×	16人	○	×	×	数学科推薦入学について 面接には, 数学的思考力をみるための試問を含む。
		物理学科											
	化学	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		
	生物												
	地球科学	×	○	×	○	○	×	5人	○	×	○		
工学部	電子情報工学科	電子情報工学科						13人				推薦入学について ① 面接には, 基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中, 上段は普通科・理数科を, また, 下段は専門教育を主とする学科(工業)を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
		機械システム工学科						6人					
	物質工学科	物質工学科	×	○	×	○	○	×	10人	×	×		×
		物質工学科							5人				
		物質工学科							8人				
化学生物工学科							4人						

参考 1. 調査書に◎標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)  
2. 推薦入学の募集人員は, 前期日程の募集人員に含まれる。

3. 平成7年度富山大学入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解 答 さ せ る 教 科 ・ 科 目 名	
学部(学科, 課程, 専攻等)名				
人 文 学 部	人 文 学 科	前 期 日 程 に 係 る 一 般 選 抜 の 全 部	5教科5科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔数I〕 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕	
	国 際 文 化 学 科		3教科3科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 外〔英, 独, 仏から1〕	
	言 語 文 化 学 科			
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程 中 学 校 教 員 養 成 課 程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)	前 期 日 程 に 係 る 一 般 選 抜 の 全 部	5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕	
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程 幼 稚 園 教 員 養 成 課 程 情 報 教 育 課 程 (教育情報コース, 環境情報コース)			
	中 学 校 教 員 養 成 課 程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)			
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	数 学 専 攻	推 薦 入 学 (入学定員 50人中 各専攻 2人)	課 さ ない
		理 科, 家 庭, 技 術 専 攻 音 楽, 美 術, 保 健 体 育 専 攻		
	情 報 教 育 課 程	教 育 情 報 コ ー ス	推 薦 入 学 (入学定員 24人中 6人)	課 さ ない
環 境 情 報 コ ー ス		推 薦 入 学 (入学定員 16人中 4人)		
経 済 学 部	昼 間 主 コ ー ス	前 期 日 程 に 係 る 一 般 選 抜 の 全 部	5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕	
	夜 間 主 コ ー ス			
	昼 間 主 コ ー ス			推 薦 入 学 (入学定員 155人中 12人)
夜 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 120人中 10人)	課 さ ない	
	経 営 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 100人中 8人)		
	経 営 法 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 20人中 7人)		
夜 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 20人中 7人)	課 さ ない	
	経 営 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 20人中 7人)		
	経 営 法 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 20人中 6人)		

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。  
 注5. 個別学力検査等の日程は, 分離・分割方式前期日程である。なお, 推薦入学の入学定員は, 当該日程の募集人員に含まれる。

個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
国(国語Ⅰ, 国語Ⅱ) 外(「英語Ⅱ, 英語ⅡB」, ドイツ語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語から1)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(16ページ)を参照すること。 なお, 人文学部の推薦入学にあつては, 18ページを参照すること。  2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(14ページ)を参照すること。
小論文		
国(国語Ⅰ, 国語Ⅱ), 数(代数・幾何, 基礎解析), 外(英語Ⅱ, 英語ⅡB)から1		
志望専攻の実技		
小論文(数学に関するもの) 面接(基礎学力に関する試問を含む。)		
小論文 面接 実技 面接		
小論文		
数(代数・幾何, 基礎解析)又は外(「英語Ⅱ, 英語ⅡB」, ドイツ語から1)		
課さない		
小論文 面接		

計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

まれる。



入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解 答 さ せ る 教 科 ・ 科 目 名
理 学 部	数 学 科	前期日程に係る	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物, 化, 生, 地学から1〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	化 学 科		
	生 物 学 科		
	地 球 科 学 科		
	生物圏環境科学科	一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物, 化, 生, 地学から1〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	物 理 学 科		
	数 学 科		
生物圏環境科学科	推薦入学 (入学定員 30人中 5人)	課さない	
工 学 部	電子情報工学科	前期日程に係る	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Ⅰから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕
	機械システム工学科		
	物質工学科		
	化学生物工学科		
	電子情報工学科	推薦入学 (入学定員132人中 19人)	課さない
	機械システム工学科		
	物質工学科		
化学生物工学科	推薦入学 (入学定員 86人中 12人)		

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。  
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は、高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。  
 注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。  
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について、複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。  
 注5. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式前期日程である。なお、推薦入学の入学定員は、当該日程の募集人員に含

個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
数（代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計（統計は除く。））	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は、本要項の5（16ページ）を参照すること。  2. 大学入試センター試験の「理科」については、(注4)を参照すること。	
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（化学）		
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（物理, 化学, 生物, 地学から1）		
数（代数・幾何, 基礎解析）又は外（英語Ⅱ, 英語ⅡB） 理（物理, 化学, 生物, 地学から1）		
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（化学, 生物から1）		
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（物理）		
面接（数学的思考力をみるための試問を含む。）		
小論文（科学的な思考力を問う内容を含む。） 面 接		
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（物理）		
数（代数・幾何, 基礎解析） 理（物理, 化学から1）		
小論文		
面 接（基礎学力に関する試問を含む。）		

計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限る。

まれる。





(2) 後 期 日 程

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解答させる教科・科目名		
学部(学科, 課程, 専攻等)名					
人文学部	人文学科	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科5科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔数I〕 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕		
	国際文化学科 言語文化学科				
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕		
	情報教育課程			教育情報コース 環境情報コース	
	中学校			国語専攻	3教科3科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 外〔英, 独, 仏から1〕
				社会専攻	3教科4科目 国 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 外〔英, 独, 仏から1〕
				英語専攻	
	学部 教員養成課程			数学専攻	3教科4科目 国 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕
				理科専攻	3教科4科目 国 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕
				家庭専攻	3教科4科目 国 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3)
	技術専攻			2教科2科目 国 外〔英, 独, 仏から1〕	
	音楽, 美術, 保健体育専攻				
経済学部	昼間主 コース	後期日程に係る 一般選抜の全部	3教科3科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) } から 数〔数I〕 } (注. 外〔英, 独, 仏から1〕		
	夜間主 コース				
	経済学科 経営学科 経営法学科		5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕		

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計I, 簿記会計II」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記  
 注3. 「理科I」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注4. 経済学部「昼間主コース」の後期日程における大学入試センター試験の「社会」及び「数学」の両教科を受験してい  
 注5. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。  
 注6. 個別学力検査等の日程は, 分離・分割方式後期日程である。

個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
課さない	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要 項の5(17ページ)を参照 すること。  2. 大学入試センター試験の 「理科」については, (注5) を参照すること。	教育学部の実技検査 の内容については, 本要項4(15ページ) を参照すること。
実 技 (音楽, 美術, 体育から1)		
小論文		
国(国語I, 国語II)		
小論文		
外(英語II)		
小論文		
小論文 面接		
小論文		
小論文		
志望専攻の実技		
外(英語II, 英語IIB)(英語読解力)		
外(英語II, 英語IIB)(英語読解力)		

計I, 簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。  
 る場合は, 高得点の教科を利用する。



入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解 答 さ せ る 教 科 ・ 科 目 名
学部(学科, 課程, 専攻等)名			
理 学 部	数 学 科	後 期 日 程 に 係 る  一 般 選 抜 の 全 部	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物, 化, 生, 地学から1〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	物 理 学 科		5教科6科目 国 社〔倫, 日, 世, 地理, 現社から1〕(注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	化 学 科		3教科4科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物, 化, 生, 地学から1〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	生 物 学 科		4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物, 化, 生から1〕 外〔英, 独, 仏から1〕
	地 球 科 学 科		2教科3科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔地学〕
	生 物 圏 環 境 科 学 科		3教科4科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔化学〕 外〔英, 独, 仏から1〕
工 学 部	電 子 情 報 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 物 質 工 学 科	後 期 日 程 に 係 る  一 般 選 抜 の 全 部	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ, 工, 簿から1」〕(注2) 理〔物, 化, 生, 地学, 理Ⅰから1〕(注3) 外〔英, 独, 仏から1〕
	化 学 生 物 工 学 科		

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記  
 注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。  
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。  
 注5. 個別学力検査等の日程は, 分離・分割方式後期日程である。

個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
面 接 (数学的な内容を含む。)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(17ページ)を参照すること。  2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	
小論文(物理に関するもの。)		
小論文(化学に関するもの。)		
面 接 (生物に関する内容を含む。)		
課さない		
面 接 (科学的な思考力を問う内容を含む。)		
課さない		
面 接 (化学的な内容を含む。)		

計Ⅰ, 簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。



## 4. 教育学部の実技検査の内容

## (1) 前期日程

## 中学校教員養成課程（音楽、美術、保健体育専攻）

区 分	検 査 内 容																	
芸 術	筆答試問 音楽通論																	
	音楽実技 <p>1. ソルフェージュ コールユーブンゲン第1巻(原書)No.48～No.85の中より検査当日指定する。</p> <p>2. 声楽, 器楽(ピアノ)による課題曲</p> <p>(1) 声楽 下記の歌曲より任意の1曲を暗譜演奏する。</p> <table border="0"> <tr> <td>Vergin, tutto amor</td> <td>(c moll)</td> <td>F. Durante</td> </tr> <tr> <td>Sento nel core</td> <td>(f moll)</td> <td>A. Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>Sebben, crudele</td> <td>(d moll)</td> <td>A. Caldara</td> </tr> <tr> <td>浜辺の歌</td> <td>(As dur)</td> <td>成田 為三</td> </tr> <tr> <td>北秋の</td> <td>(D dur)</td> <td>信時 潔</td> </tr> <tr> <td>かやの木山</td> <td>(D dur)</td> <td>山田 耕柝</td> </tr> </table> <p>(指定の調以外で歌う者は, 伴奏譜を願書提出時に併せて提出すること。)</p> <p>(2) 器楽(ピアノ) バッハの3声インヴェンション(シンフォニア)より任意の1曲を暗譜演奏する。</p> <p>3. 声楽又は器楽による自由曲 声楽, ピアノ, 管, 弦, 打楽器のうち, 1つを選択し自由曲を暗譜演奏する。</p> <p>(注)1) 自由曲演奏の声楽又は器楽の選択について 器楽を選択する場合は, 願書提出時にその楽器名を記入する。 なお, ピアノ以外の器楽又は声楽を選択する者で, 伴奏が必要な場合は, 伴奏譜を願書提出時に併せて提出すること。</p> <p>(2) ピアノ, マリンバ, コントラバス以外の楽器は各自で準備すること。</p>	Vergin, tutto amor	(c moll)	F. Durante	Sento nel core	(f moll)	A. Scarlatti	Sebben, crudele	(d moll)	A. Caldara	浜辺の歌	(As dur)	成田 為三	北秋の	(D dur)	信時 潔	かやの木山	(D dur)
Vergin, tutto amor	(c moll)	F. Durante																
Sento nel core	(f moll)	A. Scarlatti																
Sebben, crudele	(d moll)	A. Caldara																
浜辺の歌	(As dur)	成田 為三																
北秋の	(D dur)	信時 潔																
かやの木山	(D dur)	山田 耕柝																
芸 術	美術実技 <p>基礎描写力検査(鉛筆及び淡彩による人物写生)</p> <p>表 現 力 検 査(与えられたテーマと材料による立体表現)</p>																	
保健体育	体育実技 <p>1. 基礎運動能力検査</p> <p>2. 運動技能検査</p> <p>(1) 器械運動 鉄棒運動(男), 平均台運動(女), マット運動</p> <p>(2) 陸上競技 スタートダッシュ, 立三段跳, 三步助走の走高跳</p> <p>(3) 球 技 バレーボール, バスケットボール, サッカー</p> <p>(4) ダ ン ス 主題による創作</p> <p>上記2(1)～(4)の4領域のうちより, 2領域を選び, その領域より1種目ずつの運動を選ぶ。</p>																	

(2) 後期日程

① 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程, 幼稚園教員養成課程

区 分	検 査 内 容
芸 術 音楽実技	1. 歌唱又は楽器による自由曲演奏 歌唱は音楽Ⅰ程度までの歌曲 楽器は和楽器を除き, 鍵盤, 管, 弦, 打楽器いずれも可 2. 筆記及び録音聴取による音楽Ⅰ程度の音楽能力検査 (注)1) 自由曲演奏の歌唱又は楽器の選択について 楽器を選択する場合は, 願書提出時にその楽器名を記入する。 なお, 自由曲は無伴奏で演奏するが, 楽譜は見てもよい。 (2) ピアノ, 電子オルガン, マリンバ以外の楽器は各自で準備すること。 なお, 電子オルガン演奏では大学で設定した音色等を使用することとし, その詳細は願書受理後受験者に送付する。
芸 術 美術実技	表現力検査 平面(鉛筆と着彩による。) 立体(粘土による。)
保健体育 体育実技	基礎運動能力検査

② 中学校教員養成課程(音楽, 美術, 保健体育専攻)

区 分	検 査 内 容
芸 術 音楽実技	筆答試問 音楽通論 1. ソルフェージュ コールユーブンゲン第1巻(原書)No.48~No.85の中より検査当日指定する。 2. 声楽, 器楽(ピアノ)による課題曲 (1) 声楽 下記の歌曲より任意の1曲を暗譜演奏する。 Vergin, tutto amor (c moll) F. Durante Sento nel core (f moll) A. Scarlatti Sebben, crudele (d moll) A. Caldara 浜辺の歌 (As dur) 成田 為三 北秋の (D dur) 信時 潔 かやの木山 (D dur) 山田 耕柝 (指定の調以外で歌う者は, 伴奏譜を願書提出時に併せて提出すること。) (2) 器楽(ピアノ) バッハの3声インヴェンション(シンフォニア)より任意の1曲を暗譜演奏する。 3. 声楽又は器楽による自由曲 声楽, ピアノ, 管, 弦, 打楽器のうち, 1つを選択し自由曲を暗譜演奏する。 (注)1) 自由曲演奏の声楽又は器楽の選択について 器楽を選択する場合は, 願書提出時にその楽器名を記入する。 なお, ピアノ以外の器楽又は声楽を選択する者で, 伴奏が必要な場合は, 伴奏譜を 願書提出時に併せて提出すること。 (2) ピアノ, マリンバ, コントラバス以外の楽器は各自で準備すること。
芸 術 美術実技	描写力検査(石膏デッサン) (注) 鉛筆または木炭のうちから選択
保健体育 体育実技	運動技能検査

5. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点

(1) 前期日程

日 区 程 分	教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	小計	合計	
	学部(学科・課程)												
前 期	人 文 学 部		大学入試センター試験 個別学力検査	100 200	100 -	100 -	100 -	100 200	- -	- -	500 400	900	
	教 育	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	大学入試センター試験 個別学力検査	200 (200)	100 -	200 (200)	100 -	200 (200)	- -	- -	800 200	1,000	
		情報教育 課程	教育情報コース 環境情報コース										
	学 部	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)	大学入試センター試験 個別学力検査	200 (400)	100 -	200 (400)	100 -	200 (400)	- -	- -	800 400	1,200	
		中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	大学入試センター試験 個別学力検査	200 -	100 -	200 -	100 -	200 -	- 400	- -	800 400	1,200	
	経 済 学 部	コ昼   間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験 個別学力検査	100 -	50 -	100 (300)	50 -	100 (300)	- -	- -	400 300	700
		コ夜   間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験 個別学力検査	200 -	100 -	200 -	100 -	200 -	- -	- -	800 -	800
	日 理 学 部	数 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	100 -	- -	100 500	100 -	200 -	- -	- -	500 500	1,000
		物 理 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 -	100 -	200 200	100 400	200 -	- -	- -	800 600	1,400
		化 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 -	- -	200 200	100 200	200 -	- -	- -	700 400	1,100
生 物 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 -	- -	200 200	100 300	200 -	- -	- -	700 500	1,200		
地 球 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	100 -	- -	200 (200)	200 200	200 (200)	- -	- -	700 400	1,100		
生 物 圏 環 境 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	100 -	- -	200 200	200 200	200 -	- -	- -	700 400	1,100		
工 学 部	工 学 部		大学入試センター試験 個別学力検査	100 -	- -	100 200	100 200	100 -	- -	- -	400 400	800	

- (注) 1. 配点の( )は、選択教科を示す。  
 2. 理学部数学科の個別学力検査「数学」の配点は、「代数・幾何, 基礎解析」200点と「代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く。)」300点とで合計500点である。

(2) 後期日程

日 区 程 分	教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	面接	小計	合計	
	学部(学科・課程)													
後 期 日 程	人 文 学 部		大学入試センター試験 個別学力検査	100 —	100 —	100 —	100 —	100 —	— —	— —	— —	500 —	500	
	教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程		大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	200 —	200 —	200 —	200 —	200 —	— —	— —	1,000 200	1,200
		中 学 校 教 員 養 成 課 程	国 語 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	300 200	100 —	— —	— —	200 —	— —	— —	— —	600 200	800
			社 会 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	100 —	300 —	— —	— —	200 —	— —	200 —	— —	600 200	800
			英 語 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	100 —	— —	— —	300 200	— —	— —	— —	600 200	800
		学 部 課 程	数 学 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	150 —	— —	300 —	— —	150 —	— —	— —	200 —	600 200	800
			理 科 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	200 —	200 —	200 —	— —	— —	200 ※	600 200	800
			家 庭 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	200 —	200 —	200 —	— —	— —	200 —	600 200	800
			技 術 専 攻	大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	— —	300 —	100 —	— —	— —	— —	200 —	600 200	800
		情報教育 課程	教育情報コース	大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	200 —	200 —	200 —	200 —	— —	— —	— —	— —	1,000 400
	環境情報コース		大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	400 —	— —	400 —	—
	経 済 学 部	コ昼 1間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	(100) —	(100) —	— —	200 100	— —	— —	— —	500 100	600
		コ夜 1間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	100 —	200 —	100 —	200 100	— —	— —	— —	800 100	900
	理 学 部	数 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	— —	200 —	100 —	200 —	— —	— —	300 —	700 300	1,000
		物 理 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	100 —	400 —	200 —	200 —	— —	200 —	— —	1,100 200	1,300
		化 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	200 —	200 —	200 —	— —	400 —	— —	600 400	1,000
		生 物 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	200 —	— —	200 —	200 —	200 —	— —	— —	200 —	800 200	1,000
		地 球 学 科		大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	100 —	400 —	— —	— —	— —	— —	500 —	500
		生物圏環境科学科		大学入試センター試験 個別学力検査	— —	— —	200 —	300 —	200 —	— —	— —	300 —	700 300	1,000
工 学 部	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科		大学入試センター試験 個別学力検査	100 —	— —	300 —	300 —	100 —	— —	— —	— —	800 —	800	
	化学生物工学科		大学入試センター試験 個別学力検査	100 —	— —	300 —	300 —	100 —	— —	— —	200 —	800 200	1,000	

(注) 1. 配点の( )は、選択教科を示す。  
 2. 教育学部中学校教員養成課程理科専攻の個別学力検査の面接欄の※印は、総合判定の資料とすることを示す。



- 6. 特別選抜方法
  - 7. 身体に障害を有する志願者との事前協議
  - 8. 私費外国人留学生選抜の概要
  - 9. 学生募集要項（細目）の発表
  - 10. 学生募集要項の請求方法
  - 11. 大学案内の請求方法
- } (省略)
- 以上

**平成6年度文部省在外研究員派遣予定者の決定**

種類	所属	職名	氏名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調査研究題目	派遣期間
若手教官 (追加)	人文学部	助教授	前川 要	ヨーク ( 連 合 王 国 ) ヨーク大学	ヨーロッパ都市考古学の研究	7. 3. 27 } 8. 1. 26

**人 事 異 動**

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異動内容
昇任	6. 8. 1	笠原 一世	助手(理学部)	助教授(理学部)
	"	川原田 淳	助手(東京医科歯科大学医用器材研究所)	助教授(工学部)
退職	6. 7. 28	松岡 弘二	事務補佐員(附属図書館)	平成6年7月27日限り退職した
	"	大岩 満美子	" ( " )	"
	6. 7. 29	林 敏和	事務補佐員(附属図書館)	平成6年7月28日限り退職した
	"	青山 拓也	" ( " )	"
	"	松田 充子	" ( " )	"
	"	大久保 英	" ( " )	"
	6. 8. 1	石原 学	技術補佐員(経理部主計課)	平成6年7月31日限り退職した
	"	吉迫 文崇	" ( " )	"
"	宮本 淳	" ( " )	"	
	以下余白			

## 学 内 諸 報

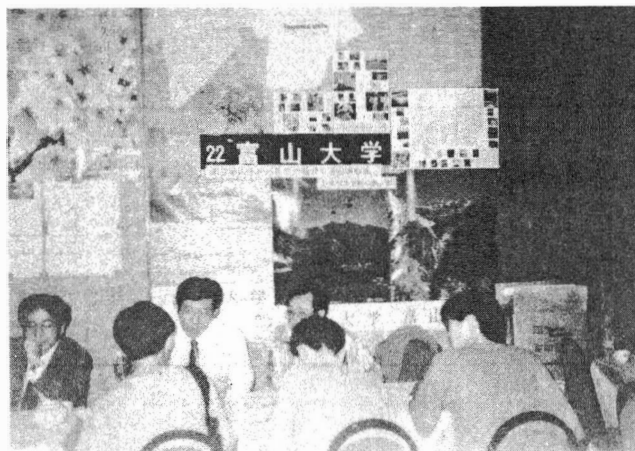
## 中国北京市で開催の日本留学フェアに参加

本学は、7月2日(土)・3日(日)中国北京市(北京五州酒店)で開催された日本留学フェアに工学部塩澤和章教授、学生部大平嘉彦学生課長が出席しました。本フェアは、財団法人日本国際教育協会と中国留学服務中心の共催で開催され、日本への留学希望者及び進学指導者に対して、留学目的に合った教育機関を選択し、実りある留学を達成できるようにするため、我が国の教育事情や個々の大学等の教育・研究上の特色等に関する的確な情報提供を行うことを目的としております。

日本全国から国立大学15校、私立大学18校の合計33大学及びその他関係2機関が参加しました。フェア開催の2日間の来場者は、中国各地から5,000人余りが集まり、狭い会場を埋め尽くしました。

富山大学のブースにも多数の留学希望者が集まり、留学の手続き方法、入学試験の日程・試験科目、研究内容、奨学金制度、学費・生活費・宿舍・アルバイト等について具体的な質問が多く、熱心に説明を聞きメモを取っていました。

今回は大学として初めての参加であったが、留学に対する熱意・事情を直接見聞きし、今後の留学生対策を検討するうえで参考になりました。



富山大学ブースで説明を受ける留学希望者

## 経済学部外国人留学生と学部指導教官等との懇談会

経済学部は、7月13日(水)同学部101教室において外国人留学生と学部指導教官等との懇談会を開催しました。

当日は中国、マレーシア、台湾など7カ国の外国人留学生と関係教職員、チューターのほか五福連合町内会長、富山県青年団協議会長などの地域住民代表が加わり、約80名の参加がありました。

懇談会は、吉原学部長の挨拶にはじまり、留学生指導教官から「留学生への諸注意」、「期末試験について」など学習に直結する事項等について説明が行われました。

続いて留学生の、自己紹介がなされ、夕食を囲み和やかにフリートークで懇談しました。

今回の懇談会では、留学生と教職員及び地域住民代表から忌憚のない発言が寄せられ、相互理解を深め初期の成果を収めることができ、有意義な懇談会となりました。



▲ 富山県青年団協議会長と意見を交わす外国人留学生

## 平成6年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会

高等学校の進路指導担当者との入学試験に関する懇談会が去る7月14日（木）黒田講堂において開催されました。

この懇談会は、本学の入学試験や教育研究などについて理解を得ることを目的として毎年開催されているもので、今年は富山県のほか石川、福井及び岐阜県の高校側担当者と本学関係者合わせて約90名が出席して行われました。

特に、大学院の概要及び就職状況等について各学部から詳細な説明があり、高校側からも本学に対して多くの要望等が寄せられるなど、当初予定した時間を超過して熱心に懇談が行われました。



▲ 高校側から要望や意見を述べる担当者

## 富山地域リカレント教育推進事業

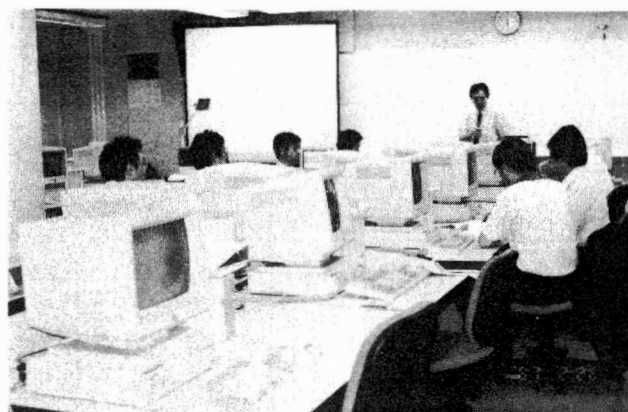
### 富山大学リカレント学習コースを開設し、大きな成果

リカレント教育推進の必要が叫ばれている今日、富山県民の強いニーズに応じて企画された第3回富山大学リカレント学習コース「企画スタッフのための経営システム科学」が、去る7月4日から7月25日までの間の10日間、富山大学黒田講堂及び情報処理センターにおいて開催されました。

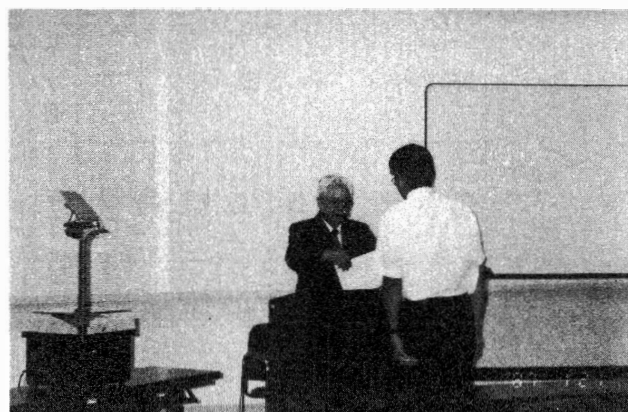
この学習コースは、文部省からの委嘱によるリカレント教育推進事業の一環として富山大学が開設したもので、県内各種企業等から、企画・開発業務担当者や技術者など10名が受講しました。

学習コースでは、コンピュータ社会における意思決定等、現代社会のニーズに合致した内容で、階層化意思決定法、数理計画法・経営計画とその手法及び同実習、多変量解析を応用した経営管理分析、コンピュータ・シミュレーションによる総合的意思決定・実習、ファジィ理論について修得し、大きな成果を挙げました。

受講者からは大学ならではの高度な内容だったとの意見や、今後、より実践的な講座開設をとの要望等がありました。



▲ 情報処理センターで熱心に実習を行う受講者



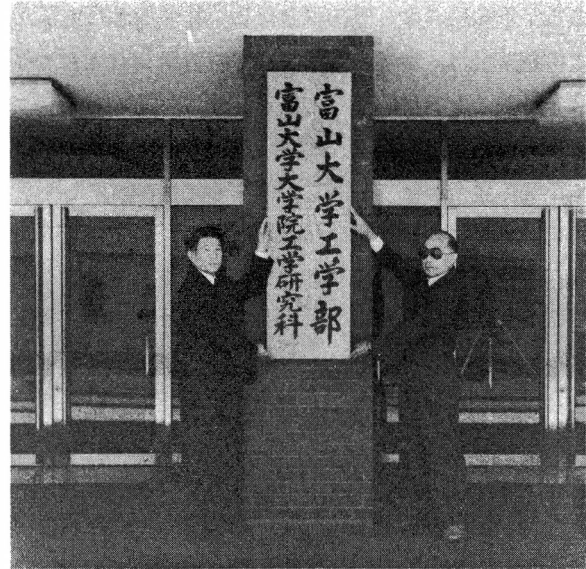
▲めでたく修了。吉原経済学部長から修了証書の授与

木製大看板掲げる

—— 工学部に念願の博士課程が設置ますますの飛躍 ——

工学部では、昭和60年頃から大学院工学研究科（博士後期課程）の設置に向けて毎年努力を重ねてきたところ、本年4月1日に関係各位の支援を得て念願が達成しました。過日、これを記念して工学部正面玄関に良質の樺材（特に厚さ5cmの相撲部屋と見紛うほど）の堂々とした大看板が、小黒学長及び時澤工学部長の手により上掲されました。

同研究科は、専門的視野及び総合的視野の涵養を博士課程教育の二大要素として教育課程を編成し、システム生産工学専攻（入学定員6人）及び物質生産工学専攻（入学定員6人）を置き、両専攻の緊密な連携のもとに教育・研究が行われます。初年度は定員の2倍強の26人の学生を受入れました。



▲ 看板を掲げる小黒学長，時澤工学部長

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	森 克 徳	フ ラ ン ス	酸化物高温超伝導体研究の動向調査及び研究打合せ	6. 7. 1 } 6. 7.12
	教育学部	〃	田 中 晋	ロ シ ア	「極東地域河川の生物的多様性に関する生態学的研究」の生物調査及び研究討論	6. 7.15 } 6. 8. 9
	工学部	助教授	前 田 寧	ド イ ツ チ ェ コ オ ー ス ト リ ア	POLYMER NETWORKS 94' 出席及び研究発表 他	6. 7.24 } 6. 8. 9
	経済学部	〃	澤 井 啓	ア メ リ カ 合 衆 国 フ ラ ン ス 連 合 王 国	国際商事仲裁特に知的所有権紛争の解決に関する研究 (在外研究員)	6. 7.25 } 6. 9.24
	工学部	教授	山 口 信 吉	オ ー ス ト ラ リ ア	第9回国際乾燥シンポジウム出席及び研究発表 他	6. 7.26 } 6. 8. 8
	理学部	〃	櫻 井 醇 児	フ ラ ン ス オ ラ ン ダ , チ ェ コ ポ ー ラ ン ド	「近藤型の希土類元素化合物の低温挙動」の研究発表 他	6. 7.28 } 6. 9. 1

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修	理学部	教授	安 田 祐 介	フ ラ イ ン ス ド イ ツ	第10回国際ゼオライト学会に参加 及び研究発表 他	6. 7. 8 } 6. 7.26
	教育学部	助教授	堀 田 朋 基	フ ィ ン ラ ン ド	伸張-短縮サイクル運動のメカニ ズムに関する研究	6. 7.13 } 6. 7.26
	経済学部	〃	新 里 泰 孝	連 合 王 国 オ ラ ン ダ	花き産業に関する研究及び資料収 集	6. 7.15 } 6. 8. 4
	人文学部	〃	筒 井 洋 一	連 合 王 国	英国外交に関する調査研究及び研 究打合せ	6. 7.19 } 6. 8.16
	理学部	教授	小 島 覚	カ ナ ダ	国際会議に参加及びユーコン地方 における森林調査	6. 7.22 } 6. 8.24
	教育学部	助教授	西 川 友 之	イ タ リ ア	バレーボールの審判技術研修及び イタリアのクラブスポーツに関する 調査研究	6. 7.23 } 6. 8. 1
	人文学部	〃	上 野 隆 三	中 国	中国語授業の実態調査及び資料収 集	6. 7.27 } 6. 8.18
	〃	〃	中 純 天	〃	資料収集	〃
	経済学部	助教授	澤 野 雅 彦	ア メ リ カ 合 衆 国 連 合 王 国 フ ラ ン ス ・ イ タ リ ア	西欧・東欧・アメリカ・アジアの 比較経営研究のための打ち合せ及 び資料収集	6. 7.28 } 6. 9. 9
	教育学部	教授	笹 尾 靖 也	ス イ ス	I C M ' 94 (世界数学者連合) に 参加及び資料収集	6. 7.30 } 6. 8.16
	人文学部	助教授	吉 田 俊 則	ロ シ ア	17世紀ロシアの都市の歴史に関す る資料収集及びロシア史研究所研 究員との学術交流	6. 7.31 } 6. 9.26

## 外国人来訪者

氏名 (国籍)	所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
マリヤ・ジョーミナ (ロシア)	イルクーツク 経済アカデミー	研究打合せ	人文学部 教授 藤井 一行	6. 7. 2 ) 6. 7. 3
王 承 禮 (中国)	吉林省社会科学院 教 授	渤海史研究に 関する意見交換	人文学部 教授 藤本 幸夫	6. 7. 7
李 亜 泉 (中国)	吉林省調査研究学会 会 長	"	"	"
John C. Jamieson	香港中文大学・ 客員教授	"	"	"

## 職員消息

### <住所変更>

部局名	官職	氏名
学生部	文部事務官	伏喜理香
人文学部・ 理学部	文部事務官	伏喜俊至
教育学部	教 授	浅沼照雄
教育学部	講 師	徳橋 曜
経済学部	助教授	河野三郎

## 訃 報

## 富山大学名誉教授 岩淵富治氏逝去



本学名誉教授岩淵富治氏が、平成6年7月10日に逝去（享年77歳）されました。

同氏は、昭和16年3月東京商科大学を卒業後、同25年3月新潟県立直江津高等学校教諭、同25年4月柏崎短期大学講師兼務、同30年4月柏崎短期大学講師（専任）、同33年4月新潟短期大学講師（柏崎短期大学を新潟短期大学に名称変更）、同34年4月新潟短期大学助教授を経て、同34年10月本学助教授に就任、同46年8月同教授に昇任し、同57年4月に停年により退官されました。

この間、同氏は昭和48年から同56年まで4期（8年間）の永きにわたり学生部長及び評議員を歴任し、本学の管理運営に参画され、大学の発展に多大な貢献をされました。

これらの功績により、昭和58年9月富山大学名誉教授の称号が授与されました。

さらに、退官後も引き続き、昭和61年3月まで金沢経済大学教授、また同年4月から平成5年3月まで敦賀女子短期大学教授として、原価会計学・経営分析等の教鞭を執られると共に、金沢経済大学では学生部長、敦賀女子短期大学においては評議員及び図書館長を歴任され、両大学の発展に多大な貢献をされました。

同氏は、通算40年余の永きにわたり、強い信念、高

邁なる識見、清廉なる人柄をもって教育研究に精励され、将来の社会を担う優秀な人材の育成に尽力されました。

研究面においては、原価会計学、経営分析、生産管理等の広い分野にわたっており、それらの理論と実践に研鑽を積み、幾多の著書、論文、企業診断報告書、調査研究報告書等を発表され、新しい領域からの研究成果として、学会や産業実務界に寄与するところ極めて大で高い評価を受けられました。

学外においては、日本会計学研究会、中小企業診断士協会の各会員として活躍するとともに、富山県生産性本部理事、富山県環境衛生適正化審議会委員、富山商業活動調整協議会会長、富山県中小企業近代化推進協議会委員などの要職を努められ、また、富山県において中小企業診断制度が発足するやその当初から20有余年の永きにわたり各業種の地場産業の公的企業診断や実地調査に協力参画し、その多大の貢献と顕著な功績によって富山県を経て、中小企業診断協会より表彰を受けられました。

これら長年の功績により平成4年4月勲三等瑞宝章が授与されました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

# 主 要 行 事

## 本 部

- 7月1日 第4回自己点検評価委員会教育活動専門委員会  
 2～3日 日本留学フェア（中国・北京）  
 2～30日 公開講座「東アジアの人と文化」  
 4～25日 リカレント学習コース「企画スタッフのための経営システム科学」  
 6日 人事関係事項説明聴取（文部省）  
 留学生等によるリレートーク  
 7～8日 平成7年度概算要求説明（文部省）  
 8日 第2回生涯学習教育研究センター準備委員会専門委員会  
 日本語・日本文化研修留学生，教員研修留学生の受入れに関する打合せ会（国立教育会館）  
 7月9日～9月3日  
 公開講座「初心者のための自然観察と植物の育成」  
 9日 第46回北陸地区国立大学体育大会開会式（福井大学）  
 11日 平成7年度富山大学入学者選抜要項公表  
 13～15日 会計検査院会計実地検査  
 14日 平成6年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会  
 15～19日 公開講座 健康・スポーツ教室「初心者のための硬式テニス」  
 18日 全国生涯学習フェスティバル第3回実行委員会（高志会館）  
 第3回学生生活協議会  
 19日 第6回部課長会議  
 学生健康保険組合理事会  
 21日 構内交通対策委員会「小委員会」  
 22日 第3回生涯学習教育研究センター準備委員会専門委員会  
 第1回非常勤講師任用についての調整方法検討会  
 28日 第4回教養教育委員会企画専門委員会  
 自己点検評価委員会委員長と各専門委員会主査・副主査の打合せ会  
 当初予算配分方針説明会  
 第3回入学試験委員会

## 富山県留学生等交推進会議幹事会

- 28～29日 全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会  
 研究集会（岐阜県勤労福祉センター）  
 29日 第1回自己点検評価委員会  
 30～31日 外国人留学生と教職員との懇談会（見学旅行）  
 （乗鞍青年の家）

## 人 文 学 部

- 7月6日 教授会  
 教授会（人事）  
 13日 学部教務委員会  
 学部学生生活委員会  
 18日 学部特別昇給委員会  
 20日 学部将来計画委員会  
 眞率会主催ビア・パーティ  
 （於：名鉄トヤマホテル）  
 21日 学部講座代表者会議  
 27日 教授会  
 教授会（人事）  
 大学院人文科学研究科委員会

## 教 育 学 部

- 7月5日 教育実習委員会  
 6日 学部予算委員会小委員会  
 人事教授会  
 7日 学部自己点検評価委員会  
 学部自然観察実習センター委員会  
 13日 学部予算委員会  
 学部教務・学生生活合同委員会  
 学部教務委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 18日 附属幼稚園第1学期終業式  
 20日 学部入学者選抜方法検討委員会  
 教育学研究科設置記念祝賀会実行委員会  
 附属小学校，附属中学校及び附属養護学校第1学期終業式



21日 学部自己点検評価委員会  
 26日 大学院設置準備委員会（未設置教科）  
 教育学研究科委員会小委員会  
 27日 学部予算委員会  
 人事教授会

### 経済学部

7月5日 財務委員会  
 6日 学部教務委員会  
 学部入学方法検討委員会  
 人事教授会  
 大学院経済学研究科委員会  
 教授会  
 13日 日本海経済研究所運営委員会  
 平成6年度外国人留学生と学部指導教官等との  
 懇談会  
 20日 人事教授会  
 教授会  
 日本海経済研究所所員会議  
 21日 富山大学経済学部長候補者選挙  
 教授会  
 28日 論集委員会

### 理学部

7月6日 学部入試改善委員会  
 7日 学部学生生活委員会  
 13日 教授会  
 大学院理学研究科委員会  
 人事教授会  
 大学院理学研究科委員会専任教授会  
 学科長会議  
 20日 眞率会主催ビア・パーティ  
 （於：名鉄トヤマホテル）  
 22日 学部学生生活委員会  
 28日 学部動物実験委員会（持ち回り）

### 工学部

7月5日 入学試験検討委員会  
 8日 教授会  
 専任教授会  
 研究科委員会

11日 工学部案内編集委員会  
 工学部学生生活委員会  
 13日 3年次編入学試験（学力検査による選抜）  
 工学部図書委員会  
 18日 教授会  
 専任教授会  
 博士後期課程委員会  
 19日 3年次編入学試験（学力検査による選抜）合格  
 発表  
 学部運営委員会

### 附属図書館

7月28日 第1回「書香」編集委員会

### 地域共同研究センター

20日 地域共同研究センター交流振興会理事会及び総  
 会  
 21日 地球共同研究センター運営委員会

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話(24)1755(代)